

所管事務調査について

社会文教委員長

1 調査研究テーマ

『健康寿命の延伸』

2 調査研究の経過

(1) 調査研究テーマの設定

7月から実施してきた「議会による行政評価」や9月に行った「令和2年度決算審査」を通じて、介護や保健事業においては、「予防」や早期からの「健康づくり」が重要になることを改めて認識しました。そして、その「予防」などを推進するためには、取り組みの実績・効果をきちんと検証・分析するとともに、その結果などを市民の皆さんに理解していただけるようにすることが大切だと考えています。

(2) 調査研究の経過

社会文教委員会では、10月に「フレイル予防対策とその評価について」と題して、日本福祉大学の宮國先生を講師に招いて講義を聴くとともに、11月に市の介護予防事業等実態把握調査結果報告会を聴講しました。フレイル予防の講義では、「人のつながりがフレイル予防につながるというが、どのように関係しているか」、「個人の約半分は健康のために何もしていない、行動変容をいかに起こすか」「本当に改善して欲しいリスクの高い人に届けるにはどうしたらよいか」「フレイルやうつリスクの地域差の要因は何か」など、委員より所感が出されました。講義などを通じて見えてきた当面の課題に対して、調査研究を進めていきているところです。

(3) 課題整理

- ア 「人のつながり」のフレイル予防への有効性
- イ 市や地域によるフレイル予防などの取り組み状況とその効果
- ウ 行動変容のための効果的な具体策

3 今後の取り組み

(1) 地域の取り組み状況など実態把握と意見交換

当面の課題に対して、さらには、『健康寿命の延伸』について調査研究を進めるうえでは、地域や市民の皆さんの状況などを把握するとともに、地域の取り組みに関わる皆さんのご意見をお聞きしたいと考えています。以下の点を中心に、全市 20 地区において、取り組みに尽力されている健康福祉委員の皆さんや地区を担当する保健師の皆さんと意見交換をしたいと考えています。また、自主的な取り組みを運営されている方とも意見交換できればと考えています。

ア 地域での取り組みの状況と課題

イ 取り組みに関わっての感想

ウ 介護予防や健康に対する思い

協力の依頼や日程の調整については、自治振興センターやまちづくり委員会を通じて健康福祉委員の皆さんなどへご依頼したいと考えていますが、先方のご都合を十分に配慮して日程を調整していきます。

意見交換の持ち方については、1 地区あたり委員（議員）が 2～3 人入った 5～7 人程度の小グループを想定しています。

(2) より効果的な対策についての調査研究

先進事例などについて、視察等を通じて調査研究していきたいと考えています。